

夏の足跡

2019 SUMMER

令和の夏も熱い夏となった一。
世界、全国、東海大会で
熱戦を繰り広げた子どもたち。
光り輝く子どもたち取材した。



現在、御前崎市の若手ウインドサーファーが海外の国際大会で好成績を収めている。その筆頭が、御前崎中2年の石井颯太君と同校3年の松井晴君だ。2人は7月と8月にスペイン領カナリア諸島で開かれたウインドサーフィンの世界大会「グラン・カナリアPWAワールドカップ」に出場し、颯太君が第1、第2戦の15歳以下の部で優勝。晴君が第2戦の17歳以下の部に14歳で挑んで4位と大健闘した。颯太君は、父で元プロウインドサーファーである久孝さんの影響を受け、兄と同じくプロウインドサーファーの孝良さんと幼い頃

からウインドサーフィンに親しみ腕を上げてきた。今回の大会を振り返り、「自分としては満足。世界を見るとまだまだ力をつけたい。これからは1歩でも世界のレベルに近づくことができるよう頑張る」と話した。晴君は、今回の大会を思い返し、「第1戦では緊張して思うように動けなかったが、第2戦で決勝に上がることができ自信がかった。冬の御前崎の国内戦でプロの資格を取りたい」と語った。

この2人が日本のウインドサーフィン界をけん引するのにも遠い未来ではないだろう。

グランカナリアPWAワールドカップ出場

ウインド
サーフィン
石井颯太くん(左)
松井 晴くん(右)

